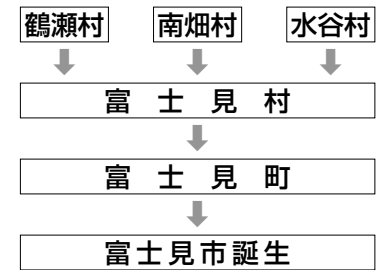


市制施行40周年記念特集 写真で振り返る、富士見市発展のあゆみ

富士見市は昭和47年4月10日、埼玉県下35番目の市として誕生し、今年で40周年を迎えます。
緑豊かな自然に恵まれ都心から30km圏内に位置し、交通の利便性がよいことなどから都市化が進みました。市制施行当時、5万9千人ほどだった人口は、現在約10万7千人となり、住宅都市として発展を続けています。
この間、富士見市は大きく発展し、駅前など都市環境の整備、教育・文化・スポーツ施設の充実、福祉の増進、産業振興の充実などさまざまな課題に取り組んできました。
今なお緑豊かな自然を残す住宅都市として着実に発展している富士見市の昔と今のようすを見比べてみましょう。

昭和31年に鶴瀬村・南畑村・水谷村の3村が合併し富士見村が発足しました。昭和39年に町制施行し、昭和47年4月10日に富士見市が誕生しました。



針ヶ谷

◀現在の栗谷津公園。昭和61年、針ヶ谷特定土地区画整理事業により開園しました。



サイクリングコース



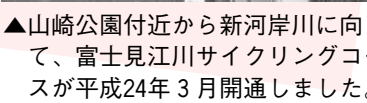
▲昭和47年4月、木染橋～伊佐島橋間のサイクリング道路の開通式が行われ、多くの子どもたちが初乗りを楽しみました。



▲昭和52年の栗谷津の谷間に開けた水田風景



▲山崎公園付近から新河岸川に向けて、富士見江川サイクリングコースが平成24年3月開通しました。



鶴瀬西



◀広々とした農地が残る昭和63年の勝瀬原の風景（ふじみ野駅建設予定地付近）



ふじみ野



▲平成5年のふじみ野駅開設から1年後



◀現在のふじみ野駅東口

▲農村から住宅都市へ、富士見が大きく変ぼうする先がけとなった住宅団地鶴瀬団地。



▲再開発により生まれ変わったつせ台地区

◀昭和52年10月に開設されたみずほ台駅。市内初の土地区画整理事業の推進にあわせ、地域の長年の願いが実現しました。

みずほ台



◀商業ビルが立ち並ぶ現在のみずほ台駅東口



▼昭和47年2月2日の富士見町臨時議会で富士見市となることを決定しました。



▲昭和48年9月3日から現庁舎での業務を開始しました。



町役場と市役所



▲現在の鶴瀬公民館の場所にあった富士見町役場。昭和12年に建てられた旧鶴瀬村役場をそのまま使用していました。

文化会館



▲昭和35年に開館した富士見村文化会館。現在の鶴瀬小学校の北側にありました。



▲平成14年に開館した市民文化会館キラリふじみ。開館以来、市民の文化芸術の拠点として親しまれています。

文化の杜公園

市民総合体育館、中央図書館などに囲まれた現在の文化の杜公園



▲昭和55年ころ、市役所南側の風景。富士見川越有料道路の工事が進行中。その手前に体育館や文化の杜公園が整備されました。

